



## 巻頭言

腎臓内科 准教授 /

まつもと けい  
松本 啓

やわらかな春の日差しがうれしい季節を迎えました。

今月は腎臓内科が担当させていただきます。月日が経つのは早いもので私が江東豊洲病院に着任してから5年あまりが経ちました。この5年の間で、新型コロナウイルス感染症が医療現場だけでなく社会に大きな影響を与えましたが、ようやく落ち着いてきて徐々に日常を取り戻しつつあります。



現在、腎臓内科は4名の常勤医師と1名の非常勤医師で診療にあたっています。当科では腎臓疾患全般に対応し、蛋白尿や血尿、腎炎、ネフローゼ症候群、急性腎障害、慢性腎臓病、透析療法（腹膜透析、血液透析）、アフェレーシス療法、水・電解質異常、高血圧症などを対象として診療を行っております。特に慢性腎臓病の進行を抑制し透析導入を回避させることを目標に地域の先生方と連携をとりながら真摯に診療にあたっております。

慢性腎臓病とは3ヶ月以上持続する尿検査異常（蛋白尿・血尿）、腎形態異常または腎機能が約60%未満にまで低下した状態をいいます。慢性腎臓病の患者さんは、日本国内に約2,000万人（成人の5人に1人）いるとされ、新たな国民病といわれています。一旦、慢性腎臓病になるともとの状態には回復しないため進行を抑制する治療を行います。少しでも進行を遅らせ透析が必要な末期腎不全にならないよう早期に発見し治療介入することが重要となります。最近では、腎性貧血の治療薬である低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素（HIF-PH）阻害薬、腎保護作用のあるSGLT2阻害薬など新しい薬が使用できるようになり、また新規治療薬の開発も精力的に進められ末期腎不全による透析導入の抑制が期待されています。

慢性腎臓病の早期発見には定期的に尿検査を行うことが大切となりますので年に一度は検査を受けることをおすすめします。当科では、蛋白尿、血尿、腎機能障害を認める患者さんに、血液検査、尿検査、腹部エコーやCTによる画像診断を用いて原因検索を行い、腎生検の適応を判断しております。そして、腎生検が可能な患者さんには、腎臓の組織を採取し顕微鏡検査での評価を行うことで適切な診断と治療法の選択を行っています。

慢性腎臓病が心配な方や今まで検査を受けたことがない方、健康診断で蛋白尿や血尿などの尿検査異常や腎機能障害を指摘された方は、当科までお気軽にご相談ください。



### 第131号のトピックス

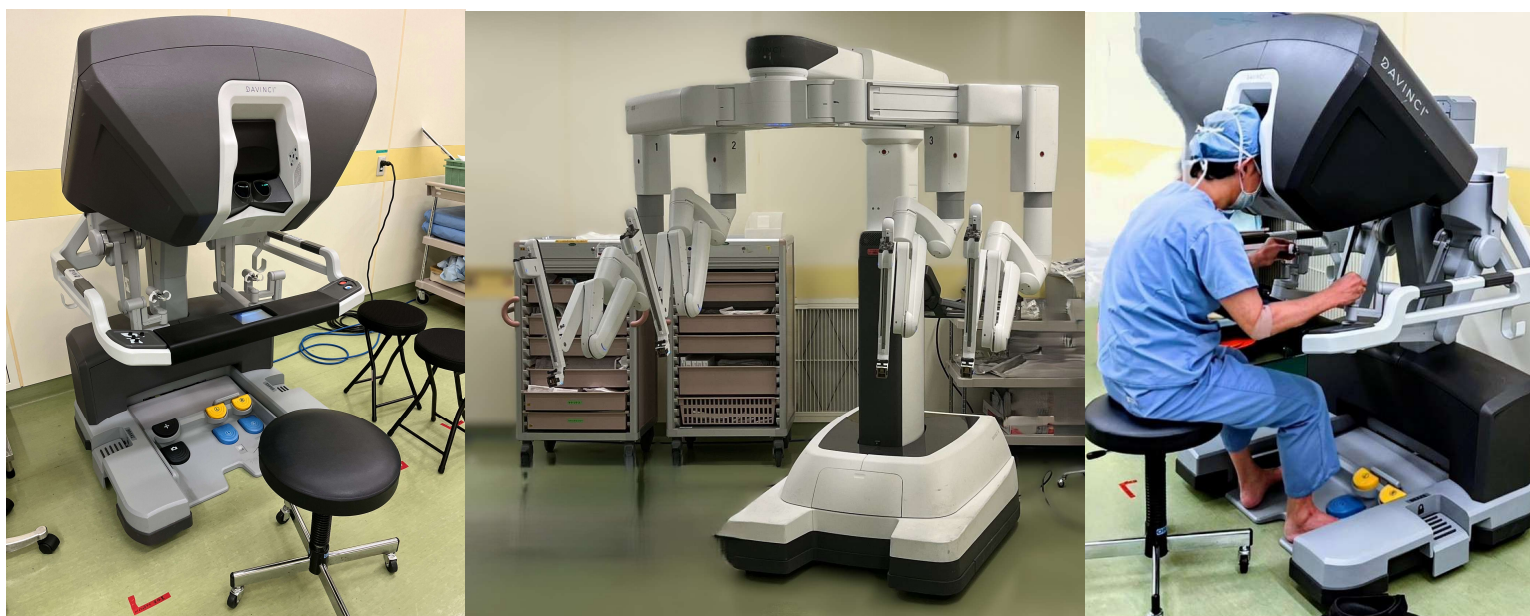
- ・巻頭言（腎臓内科）
- ・当院で行われているロボット手術のご紹介
- ・卒後臨床研修評価機構の訪問調査を受けました
- ・当院行事食のご紹介
- ・東京都防災通信訓練を行いました
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

## 当院で行われているロボット手術のご紹介

当院では令和6年7月より、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入して手術を実施しています。ダヴィンチは①サージョンコンソール（操縦席）、②ペイシェントカート（ロボットアーム）、③ビジョンカート（モニター）の計3つの機器から構成されています。ダヴィンチを使用した手術の利点としては、体への負担が少ないこと、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えていることによる緻密な動きの再現が可能なことなどが挙げられます。

泌尿器科ではダヴィンチを使用したロボット支援下手術を行っています。前立腺がんの前立腺全摘除術と、小径腎がんの腎部分切除術を行っており、いずれも良好な術後経過で推移しています。当科は以前から前立腺がんに対しては密封小線源治療を数多く行い、また小径腎がんには早期にラジオ波焼灼術を導入して治療を行ってききましたが、ダヴィンチの導入により治療オプションがまた一つ増えました。従来法の開腹手術や腹腔鏡手術と比較して術中出血量の減少、また手術での合併症の低減などが示されています。今後は膀胱がん手術などへも適用を拡大していく予定です。

泌尿器科 / もりた 森田 まさし 將



サージョンコンソール（左）、ペイシェントカート（中心）、実際に医師が操作している様子（右）

ダヴィンチ手術中の室内



## 卒後臨床研修評価機構の訪問調査を受けました

2月5日（水）、NPO 法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）の訪問調査を受けました。

JCEP は、国民に対する医療の質の改善と向上を目指すため、臨床研修病院における研修プログラムや研修状況の評価を行い、我が国の医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院の質の向上を図ることを目的として設立された機関です。

当院では、臨床研修病院として、医師免許取得後 1 年目・2 年目の臨床研修医が指導医の監督のもと、外来・病棟で診察等を実施しています。

今後も日本の未来を担う医師を養成するために質の高い研修医教育を提供していきます。



当院が JCEP の行う評価を受審し、臨床研修プログラムの改善や、研修の質の向上に努めていることを示されました。



## Pick up

### 当院行事食のご紹介

当院で提供している食事は、患者さんに必要な栄養が過不足なく摂取できるように計算された食事とし、季節ごとの行事やお祝いの日、お祭りの日に食べる特別な料理である「行事食」を定期的に提供しています。3月は「ひな祭り」の行事食を予定しています。



昨年の「ひな祭り」行事食  
ひな祭りのミニカード付で提供しました

- ひな祭り献立（昨年）
- ・華ちらし寿司
  - ・フキとがんもの煮物
  - ・菜の花のからし和え
  - ・ババロアいちごソース



## 東京都防災通信訓練を行いました

2月13日（木）に東京都の防災通信訓練に参加しました。この訓練は災害時の情報連絡体制の検証および、通信装置操作方法の習熟を図ることを目的としています。

今回は広域災害救急医療情報システム（EMIS）が使えないことを想定し、医療機関状況報告システム（BCPortal）を使用しました。

災害拠点病院として、今後もより一層の備えに努めてまいります。



医療対策拠点病院に報告書を送る事務員



### ご意見・ご要望

ご意見	回答
スタッフ間のコミュニケーションが上手くいってないように思います。ベッドサイドに医師たちが何人かいますが、自己紹介もありません。	この度は貴重なご意見を頂きありがとうございます。スタッフ間のコミュニケーション力には個人差があり、強化できるよう今後の課題とします。診療科によっては主治医ではなく、チーム制で診療にあたっています。診療にあたる以上、自己紹介するのは当然であり、周知、指導していきたいと存じます。

回答部署：統括診療科長補佐

編

集

後

記

毎年3月になると桜の開花予想や満開予想が発表されます。今年は昨年よりもやや早まり例年通りの3月20日前後のようです。ちょうどこの病院だより3月号が発刊される頃でしょうか。満開時期は年度の変わり目頃かもしれません。個人的には花見に行く（行ける）わけでもないのですが、通勤途中で桜を見ると、なんとなく幸せな気持ちになります。さて、病院前の桜の木々は開院に伴って植樹されましたが、毎年少しずつつぼみの数が増えてきているように思います。将来、これらの桜の木々が立派な桜並木となることを夢見ながら、皆様の新たな年度に満開の幸があることを願い次年度の病院だよりにつなげたいと思います。



昨年2月末の河津桜（伊豆の河津）です。

周産期センター / おおつき かつらみ  
大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>  
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38  
TEL03-6204-6000(代表)  
発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院  
Facebook ページ